

大崎上島町地域包括支援センター運営協議会

大崎上島町地域ケア推進会議 議事録

日付 令和6年6月21日(金) 19:00~20:00

開催場所 役場木江支所 2階 第2・3研修室

出席者 別紙：名簿のとおり

委員 20名、事務局 7名 計27名

1. 開会

2. 委員・職員の紹介

3. 会長及び副会長の選任

藤原(金)委員より円山委員を会長に推薦。円山委員より黒川委員を副会長に推薦
会長 円山委員 副会長 黒川委員 委員意見一致で承認された。

4. 会長挨拶

5. 議題

- (1) 令和5年度大崎上島町地域包括支援センター事業報告及び決算報告について
地域包括支援センター波多野より事業報告及び決算報告について説明。

進藤委員より 相談実績のその他については

→ 確認をしていない。また、後日確認し返答する。

後日確認したところ、文書1件、相談会1件、サービス担当者会議3件。

円山会長より 関係機関の数字のうち、医療機関の割合はどうか。

→ 割合については把握できていない

後日確認したところ、180件中、医療機関からは25件(13.9%)あった。

決算書について不備があったため、後日修正したものを委員へ配布する。

- (2) 令和6年度地域包括支援センター予算及び事業計画について

地域包括支援センター波多野より予算及び事業計画について説明。

予算について円山会長より受託費について昨年度予算より減っているが、人口減少のためか。

川野委員より：人口減少等のためではなく、歳出の合計から介護予防支援事業を引き、不足分を受託費として出しているためであり、人口減少のためではない。

- (3) 地域密着型サービスの運営について

福祉課 和田より説明

意見・質問等なし

- (4) 総合事業の事業評価について

福祉課 和田より説明

円山会長より地域での 100 歳体操について楽しみにされている方が多いのではないかと。

→コロナで中止していた時期も早くやってもらいたいと要望もあった。また、生野島・契島以外の区はすべて行っている状況。

契島については、65 歳はいない。生野島については、各個人の家から集会所までが遠く集まることが難しく、各自で行ってもらっている。

円山会長より、すべての地域で行えるような体制を取ってもらいたい。

(5) 地域包括支援センターの取り組み状況（令和 5 年度調査）について

福祉課 和田より説明

意見なし

(6) その他（各事業の実績等）

福祉課 和田より各事業の実績について説明

福祉課 川野より医療及び福祉従事者奨学金返還支援補助事業・大崎上島町シルバー人材センター設立について、大崎上島町介護資格取得等支援補助金交付事業について説明

進藤委員より、資格取得補助金について、社会福祉士が入っていないがなぜ？

→施設において社会福祉士の必置要件がないため入れていない。

介護支援専門員の資格があるが、実際に業務についていない人もいると思われるが、更新など補助金が出ないことになっているが、なぜか。

→所属している法人からも何らかの支援を受けています。町としては、法人が支援していない方を補助対象にするなどやり方が違ってはいけないため、現在はしていない。今後、法人とも検討しながら必要があれば、対応していきたい。

円山会長より、報酬改正でヘルパーの報酬減少があるが、大崎上島町のほうで何か支援策はないのか。

→今後の状況を見ながら、法人の運営方針を見ながら検討していきたい。

円山会長より、町長より、国に訴えてもらいたい。

円山会長より、シルバー人材センターで外出支援みたいな対応ができないだろうか。以前、叡智学園の生徒が発熱で 38.5 度以上であれば、学校の先生が連れてきてくれるがそれ以下の場合には、生徒が自分で行くようになっている。ライドシェアなどの活用などもどうか。

藤原（貞）委員より、奨学金返還支援補助事業については、奨学金は資格取得の学校のみのもなのなのか。

→福祉課としては福祉専門職を対象としているため、高校生の奨学金となると、全庁的な対応となる。

6. 閉会挨拶